



安倍外交のチャンスと落とし穴

～日中・日韓そして日米の「歴史和解」とどう向き合うか～

日時 平成25年10月30日(水) 14:30～16:30

会場 福井県国際交流会館 地下1階 多目的ホール

7月の参議院選挙で大勝し、長期政権への道を歩み始めた安倍政権が早くも正念場を迎えている。内政面では、消費税引き上げの舵取りいがかんが昨年来の「アベノミクス」の成功そのものを揺るがしかねない。それ以上に深刻なのが、外交面での試練である。隣国の中国、韓国との前例がないぎくしゃくとした関係のみならず、肝心の同盟国アメリカからも安倍外交への不安の声が聞こえてくる。

福井大空襲でアメリカと出会ったベテラン外交ジャーナリストの松尾文夫氏が、その「出口」を読み解く。

【受講料】 無 料

【定 員】 200名

【共 催】 福井県立大学

福井経済同友会（10月例会として開催します）

【後 援】 （公財）福井県アジア人材基金

【お申込み・お問合せ先】

福井県立大学 研究・交流推進課 TEL (0776) 61-6000 (内線 1016)

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1 E-Mail openfpu@fpu.ac.jp



講師 ^{まつお ふみお} 松尾 文夫 氏

1933年生まれ。学習院大卒。1956年共同通信社入社、バンコク支局長、ワシントン支局長、論説委員などを歴任。2004年、著書「銃を持つ民主主義-アメリカという国のなりたち-」が第52回日本エッセイストクラブ賞受賞。2008年6月より福井ふるさと大使。2009年8月「オバマ大統領がヒロシマに献花する日」を出版。

2.26事件で亡くなった松尾伝蔵大佐の孫に当たり、福井市に疎開し旭小学校在学中に空襲に遭う。

福井県立大学特別公開講座 参加申込書 FAX送信先 (0776) 61-6012

ご住所	〒 -		
TEL	-	-	FAX - -
事業所名	(企業・団体の場合ご記入ください)		
お名前		Mail アドレス	
お名前		Mail アドレス	
お名前		Mail アドレス	

※ご記入頂いた内容は主催者からの各種連絡・情報提供のために利用させていただくことがあります。